

四万十川河川水の化学組成および水素・酸素同位体比の空間分布
Spatial distribution of chemical compositions, hydrogen and oxygen
isotopic ratios of stream water of the Shimanto River area,
southwestern Japan

*高橋 正明¹、清水 日奈子¹、風早 康平¹、安原 正也^{2,1}

*Masaaki Takahashi¹, Hinako Shimizu¹, Kohei Kazahaya¹, Masaya Yasuhara^{2,1}

1. 産業技術総合研究所、2. 立正大学地球環境科学部

1. The National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 2. Rissho University

2007年12月14～18日、2008年11月22～26日、および2009年12月12～17日に、四万十川水系およびその周辺の小川（高知県西部および愛媛県南部）の101箇所より109試料を採取し、その水素および酸素同位体比の分析を行った。地理学的パラメータとして緯度（LAT）、標高（ELV）および内陸度（DS）、気象学的パラメータとして年平均気温（MAT）および年平均降水量（MAP）を用い、四万十地域の河川水の δD 、 $\delta^{18}O$ データとの関係について考察した。その結果、地理学的パラメータとしてELVおよびDS、気象学的パラメータとしてMAPを説明変数として用いると、四万十地域の河川水の δD 、 $\delta^{18}O$ の空間分布を詳細に示すことができることがわかった。

キーワード：四万十川河川水、水素・酸素同位体比、高度効果、降水量（雨量）効果、内陸効果

Keywords: stream water of the Shimanto River, hydrogen and oxygen isotopic ratio, altitude effect, amount effect, inland effect